

「令和2年度より、ふじみ野市立小中学校全校が地域協働学校となります！」

地域協働学校とは、ふじみ野市版コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度を導入した学校）の名称です。学校と保護者や地域の方が学校運営協議会を中心に力を合わせて学校の運営に取り組む「地域と共にある学校」として、地域と一体となって学校づくりを進めていきます。令和2年度から、ふじみ野市の全小中学校が地域協働学校となります。

令和2年1月22日（水）

「令和元年度地域協働学校 学校運営協議会会長等研修会」

学校運営協議会の円滑な運営に向けて、会議の運営方法や具体的な内容について理解を深めるため、久喜市立太東中学校学校運営協議会 会長 飯島祐紀夫 氏を講師にお招きし、研修会を開催しました。対象者である学校運営協議会会長や会長候補者、学校管理職など、37名が参加しました。

飯島氏からは、学校の課題を解決していくための手段としてコミュニティ・スクールの推進してきた経緯や学校運営協議会の具体的な運営の仕方、留意点など、具体的な事例を踏まえたお話がありました。

参会者からは、「学校と地域が求めていることを整理し、具体的な活動の方向性を見出すことができました。」、「学校運営協議会を学校・家庭の視点でゆっくりとまとまっていく場に、できることが見つけられる場にしていきたい。」、「地域と一緒に活動ができれば、地域が活性化するとともに、学校のPTA活動の見直しなどの効果も期待できる。」、「地域協働学校は、子供・保護者・地域が伸びて良くなるということを改めて確信しました。」などのとても前向きな感想をいただきました。

令和2年度は、中学校5校に学校運営協議会が設置され、小中学校全校が地域協働学校となります。

